

松くい虫対策について



改革・公明  
穴戸 幸次

問 何年度から防除体制を取っているか。

産業部長 確認できるのは平成5年度以降です。昭和51年度ごろから伐倒処理は行っているようです。

問 防除費はこれまで各年度いくら予算措置したか。

産業部長 決算額で平成15年度が2,773万円。16年度2,753万円。17年度2,324万円。18年度2,324万円。19年度2,410万円です。5年度からの15年間で合計2億2,896万円になっています。

問 防除方法はどのように行っているか。

産業部長 駆除と予防です。駆除は、虫もいなくなった枯れた木は伐倒し、切断して集積。虫がいる木は集積の上、ビニールで密封して薫蒸分解処理。破碎するチップ処理もします。予防としては、健全な松に殺虫剤を散布します。虫の増殖を抑えるため幹に薬剤を入れる樹幹注入も行います。



松くい虫対策

人体、土壌への影響は

問 薬剤の人体・植物・土壌汚染への影響はあるのか。

産業部長 液剤は毒物、劇物と違って普通物で、人体に影響が少ないといわれています。大気への影響がほとんどなく、土壌や河川では微生物により分解されるため、作物や植物に被害の心配はないとされています。



初心  
酒井 信幸

地球温暖化対策について

問 市政報告で二酸化炭素排出

量について報告があったが、その他の対策は考えているか。  
市長 エコマイバッグの普及や地球温暖化防止でPRを実施しています。さらに廃棄物の発生抑制、部品等の再使用、原材料の再利用などを推進していかねばならないと考えています。また、ごみの分別回収の徹底を図っていきたいと思います。

公用自転車の導入を

問 公用自転車の導入について検討してはどうか。

総務部長 健康増進課と介護福祉課に計4台あります。近距離の訪問、移動に利用しています。公用自動車の利用を控えて自転車を使うのは温室効果ガス削減の一つの方法になるかと思いますが、近距離の移動に限られます。現在保有している自転車を有効に活用するよう職員に周知を図ります。

問 市民や事業者に、それぞれの役割に応じた温室効果ガス排出抑制に向けた総合的な計画を考えているか。

市長 法律の改正で具体的な内容が国から示された段階で対応しなければなりません。まずは地域推進計画の策定を進めながら、市民や事業者と協議して、排出抑制に取り組む、しっかりとした計画はいずれ作っていかねばならないと思います。

安全、安心なまちづくりについて



日本共産党  
渡辺ふさ子

地域マップ作っては

問 防災対策について、地域安全マップを作成してはどうか。

総務部長 市は各町内会を単位とした防災地図を作成し、各世帯に配布しています。地域の実情に応じた書き込みもでき、町内独自の防災地図を作った自主防災組織もあります。地域の活動を通じてマップを作成していただきたい。防災課が支援、応援します。

問 高齢者等緊急通報システムについて、市長が特に必要と認める者の判断基準は何か。

民生部長 疾病、身体機能低下など個々の生活状況を見て判断します。同居の家族に判断能力がなく、支援が全く期待できない場合や、家族の長期不在、通報システム以外に安全確保の手段がない、などが基準です。

問 ひとり暮らしが条件だが、家族がいても、ひとりである時間が長い高齢者にも認めるべきでないか。

市長 状況によっては、と思うのですが、協力員や経費のこと

公園・児童遊園の安全点検について



ピネット  
いわぬま  
大友 克寿

問 公園・児童遊園の安全点検は、現在どのように行われているか。

市長 毎年、夏休み前の7月に、市内全域の公園・児童遊園の安全の一斉点検を行うとともに、他の自治体等で事故があった時には、その都度緊急点検を行っています。

遊具を替える予定は

問 利用者のニーズが変わり、また多様化する中で、公園や児童遊園の遊具等を変更あるいは増設する予定はあるか。

市長 大幅な変更とか、遊具等についての増設については、なかなか難しいと思います。しか